



守るための、再起動。②

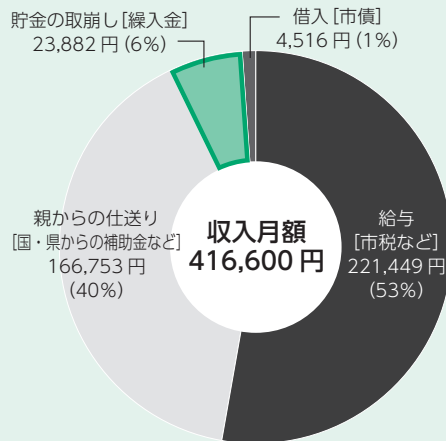
～この高浜を、次の世代へきちんと渡していくために～



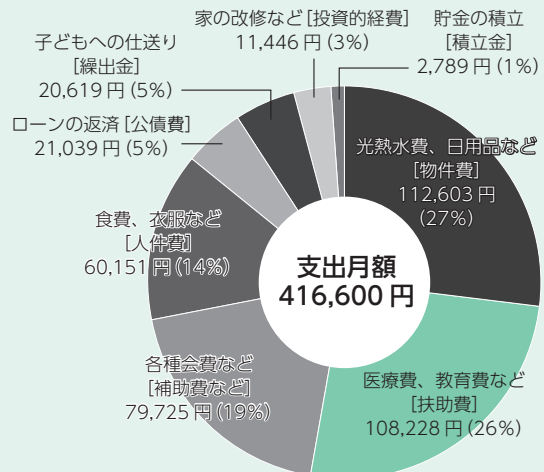
問合せ先 国行財政改革グループ ☎95-9546

今回は、市の財政状況をお知らせします。

高浜市の財政状況(令和8年度一般会計当初予算)を家計(世帯年収約500万円)に例えた場合のひと月の収入・支出



毎月貯金を取り崩して生活している状況です。このまま取り崩し続けたら、貯金がなくなってしまう。貯金を取り崩さずに生活できるようにする必要があります。



物価の高騰のほか、人件費や福祉・医療にかかる費用(扶助費)は、今後も増えていくことが想定されます。その分、なにかを見直し、全体として支出の増加を抑えていく必要があります。

特集

お知らせ

情報ファイル

催し・募集

給料はあまり上がらないのに、モノの値段が上がって毎月のやりくりが大変だ...



貯金も減ってきちゃったなあ...



本当は旅行にも行きたいし、もし病気になったら心配だなあ



そうだ！健康にも節約にもなるから、これからは、家から1駅分、歩いて仕事にいかうあとは...



お茶はペットボトルから水筒に変えて...

不用品を売って...



支出が増えていて大変！貯金も少なくなってきました

高浜市は、国の基準では「財政的に自立したまち」とみなされているので、国からの支援の一部、受けることができません。

近年は、支出の増加に収入が追いつかず、これまで実施してきた事業やサービスを維持するため、貯金を取り崩しながら運営しています。

今の高浜市は、“いつも”の支払いで精一杯！

家計に例えると、給料などの経常的な収入に対し、食費や家賃などの経常的な支出の割合が多くなると、旅行などの臨時的なイベントにお金をかけられなかったり、事故や病気などで急にお金が必要になったとき大変です。

高浜市は、この経常的な支出の割合が多い状態になっており、新たな課題や突発的な課題への対応、重要施策の推進などにかけられる余裕が無い状況なのです。

お金が足りなくても、借金をしたり、国に助けてもらうことはできません

原則、建物の改修や道路の整備のような将来にわたって使用するものへの借金はできますが、単なる赤字補填のための借金をしたり、国からの支援を受けることはできません。

今やっていることを振り返り、見直すことが必要

経常的な経費を見直し、新たな収入を確保しなければ状況は変わりません。必要な事業やサービスを将来にわたって続けていくため、なにを守り、なにを見直し、なにを未来へ託すのか、検討・取組みを進めています。